OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学ドイツ文学会行事記録
Author(s)	
Citation	独文学報. 1999, 15, p. 83-84
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/106685
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

大阪大学ドイツ文学会行事記録

（1998年11月から1999年10月まで）

第５回総会
1998年12月12日（午後１時より）待兼山会館会議室において
司会　岩元　修

１．中村元保会長挨拶
２．議長選出
　栗林澄夫が選出され、同氏により以下の議事が進められた。
３．報告事項
　１）編集委員会報告
　『独文学報』第14号編集について岩元が報告。
　『独文学報』第15号編集方針について岩元が報告。
　２）庶務・会計委員報告
　1998年度会計について阪井葉子が報告。
　林正則が会計監査報告。了承された。
４．審議事項
　１）委員の交替
　編集・企画委員
　退任は中川一成、伊東史明、赤木登代。
　留任は林進、岩元修。
　新任は小山眞理子、永谷益朗、山城貴茂。
　庶務・会計委員
　阪井葉子（再選）、山本佳樹（再選）。
　会計監査委員
　退任は林正則、鎌田道生。
　新任は茂幾保代、甲斐浩一。
　２）1999年度予算案
　山本佳樹が提示、了承された。
　３）その他

編集・企画委員5名のうち1名は編集を離れ、企画に専従することにしてはどうかという提案が岩元からなされ、討議の結果西暦2000年度から試行されることになった。

第4回研究発表会
1998年12月12日（午後2時より）待兼山会館会議室において
司会　三谷研爾

1）赤木登代
テーオドーア・フォンターネ（Theodor Fontane）の
『不貞の妻』（*L' Adultera*）と『北の海辺』（*Unwiederbringlich*）
―――― 不貞行為をめぐって

2）三上雅子
Thomas Bernhard における「虚構」について
―――― *Minetti* と *Der Stimmenimitator* を中心に